

紙藍会便り

2018年 第31号
組合員社数：27社
発行月：2018年4月

目次

- 1. 巻頭雑句
- 2. ダーツ・ボーリング大会
- 3. タイ視察研修報告
- 4. 雑誌中国輸出の行方
- 5. アンケートデータ

巻頭雑句 ～ 知らんかい

第24回

大阪なおみの大躍進！！

4 大大会に次ぐ格付けとされ、“第5のグランドスラム”などと称されるBNPパリバ・オープンにて、若千20歳にしてツアー初優勝を果たすなど、大阪なおみが大躍進を続けている。

直近のマイアミ・オープンでは残念ながら2回戦敗退となったものの、BNPパリバ・オープンでは1回戦でマリア・シャラポワ（ロシア）、準々決勝でカロリナ・プリスコバ（チェコ）、準決勝ではシモナ・ハレプ（ルーマニア）と、世界ランク1位経験者を次々に破ったの優勝を果たした。なお、これまで現役で活躍を続ける世界ランク1位経験者10人のうち、すでに5人との対戦に勝利しているというから驚きだ。

大阪なおみの持ち味は180センチの長身から繰り出される時速200キロオーバーを記録することもあるという強烈なサーブと、WTA公式twitterにて“信じられないフォアハンド”と評されるほどの力強いフォアハンドだが、そんな男子選手顔負けの豪快なプレースタイルとは裏腹な彼女の愛らしいキャラクターにも注目が集まっている。

ハイチ系アメリカ人の父と日本人の母親の間に生まれ、3歳までは大阪で過ごした彼女だが、その後一家でアメリカ合衆国フロリダ州に移住して過ごしてきたというだけに、日本語はあまり得意ではないそう。

しかし、そんな彼女が愛嬌良く、一生懸命にたどたどしい日本語でインタビューに受け答えして会場の笑いを誘う様は世

界でも話題になっているという。

先のピョンチャンオリンピックではフィギュアにスピードスケート、スキージャンプ等、多数の日本人選手が次々とメダル獲得の活躍を見せる中、2018年の流行語候補（？）の“そだねー”を引っ下げたカーリング女子チームがひととき話題をさらったが、2020年に開催予定の東京オリンピックピックを見据えて、プレー・発言の両面から大阪なおみのさらなる飛躍に期待したい。

松田 卓也





ダーツ・ボーリング大会

2018年1月、2月定例会終了後に、毎年恒例のボーリング大会及びダーツ大会を開催した。懇親をかねての大会開催であるが、開催を重ねるごとに皆の「腕」が上達している事を感じるとともに、白熱した大会が開催されている。

タイ視察研修報告

2018年2月18日、21日の期間において、タイのSCGBA、INGPOGMA、LLとSCG直営古紙ヤードの視察・見学をおこなった。日本の古紙品質の高さを実感すると共に、常に品質を大事にしていかなければならないと強く感じた。(詳細の報告は組合事務所にて。)

雑誌中国輸出の行方

2018年3月より中国にて新たな古紙品質基準による検査が開始された。禁忌品の割合が従来の1.5%未満から0.5%未満等、かなり厳しい基準となっており。品質基準に適合しない場合は、シップバックもおこなうと強く、に宣言しており、まだまだ雑誌の先行きは不透明である。

12月・1月・2月 バラ物数量対前月・前年推移データ（平均値記載）

(単位%)	段ボール			新聞			雑誌		
	12月	1月	2月	12月	1月	2月	12月	1月	2月
対前月	111.08	84.25	96.85	110.42	81.36	98.33	118.69	79.58	93.38
対前年	98.54	102.36	99.15	93.00	95.7	96.58	96.85	94.73	97.69

詳細なアンケートデータは紙藍会定例会時に配布しています。